

NEWS RELEASE

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて 2月17日（木）から「電気バス」の運行を開始します

近鉄バスでは、このたび、電気バスを導入し、2月17日（木）から運行を開始することといたしました。今回導入する電気バスは、八戸ノ里駅と東大阪医療センターを結ぶ東大阪病院線および大阪上本町駅とJR桃谷駅を結ぶ警察病院線の2路線で運行します。この2路線での運行により、10年間で約428トンのCO₂削減効果（関西電力試算）を見込んでいます。

また、当社は昨年、東大阪市、関西電力と3者で「東大阪市域の環境対策等の強化に関する連携協定」を締結し、東大阪市が掲げる「2050年ゼロカーボンシティ」の実現のため意見交換を重ねてまいりました。電気バスは走行中に二酸化炭素や大気汚染物質を排出することがなく、騒音、振動も抑えられるなど、環境への負荷を大きく低減することができるため、今回、電気バスの運行を開始することにより、その実現に大きく貢献できるものと考えております。

当社は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて積極的に取り組み、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献してまいります。また、2025年の大阪・関西万博等の国際的なイベントに向けて、地域の環境意識の向上や脱炭素化への機運醸成にも貢献したいと考えています。

詳細は別紙のとおりです。



別紙

1. 電気バスを運行する路線

- ・東大阪病院線（東大阪市：八戸ノ里駅前～市立東大阪医療センター）
- ・警察病院線（大阪市：近鉄上本町駅～大阪警察病院～JR桃谷駅前）

2. 導入する電気バスの概要

- ・型式 ビーワイディージャパン株式会社製 小型電気バス J6
- ・台数 2台
- ・乗車定員 25人
- ・最高速度 約70km/h
- ・充電時間 約3時間
- ・航続距離 200km（※乗車率65%、エアコン利用なし）

3. SDGsにおいて期待される効果

「7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに」⇒クリーンエネルギーへの転換の観点

「11.住み続けられるまちづくりを」⇒災害リスク削減の観点

「13.気候変動に具体的な対策を」⇒CO₂排出量削減の観点

「17.パートナーシップで目標を達成しよう」⇒市民社会とのパートナーシップの観点



以上